

平成29年度 事業報告

我が国の景気は、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

このような状況下、当協会では川崎港の利用促進や市民と港を結ぶ事業を中心に市民及び港湾関係者の利便性の向上と福利厚生の実を図り、川崎港の振興・発展に資する事業を積極的に推進いたしました。

【公益目的事業－1】

——川崎港の国際競争力を強化し利用を促進する事業——

1. 港湾の国際競争力の強化のための港湾施設の整備促進及び運営の改善 「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の運営に関する事業

関係官民19団体で組織する「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の事務局を川崎市港湾局と協力して担い、各参加団体より提出された課題60項目について数年に亘り取り組んできた。昨年度その課題内容の整理を行い、成果のあった案件及び課題から削除する案件、計15課題については、検討課題から外した。それ以外の課題については、千鳥町公共上屋関連5課題を一括りにして川崎港公共埠頭活性化協議会で取り組んで頂くことにし、今年度は残された40課題を継続課題として取り組んできた。

上記継続課題の進捗状況を具体的に検討、確認する場として改善部会を2回、協議会を1回開催した。

(1) 第1回「改善部会」の開催

日 程 9月4日

議 題

1. 40項目の課題の進捗状況について

ア 成果があった課題として4件が報告された。

- ① バースの整備 千鳥町7号バースの改修工事を実施中
- ② 千鳥町地区における作業車、通勤車両等の駐車場確保
- ③ 油水分離装置の設置に着手
- ④ 東扇島島内の美化対策（ゴミ対策）

イ 改善に向けて動きのあった課題5件が報告された。

ウ 課題からの削除3件が報告された

2. 新規課題として1件が提案されたが、当協議会で議論する内容ではないとして、新規課題としては取り上げないことにした。

(2) 第2回「改善部会」の開催

日 程 3月8日

議 題

1. 40項目の課題の進捗状況について

ア 成果があった課題として8件が報告された。

- ① バースの整備 千鳥町7号バースの改修工事を実施中
- ② 千鳥町地区における作業車、通勤車両等の駐車場確保
- ③ 油水分離装置の設置終了
- ④ 荷捌地の確保 ⇒ 東扇島掘込部の埋め立て事業に進展
- ⑤ コンテナ航路の充実
- ⑥ 岸壁給水の実施
- ⑦ 東扇島島内の美化対策（ゴミ対策）
- ⑧ シャーシ置場等の増設

イ 改善に向けて動きのあった課題2件が報告された。

ウ 課題からの削除1件が報告された。

(3)「推進協議会」の開催

日 程 3月29日

議 題

1. 改善部会の議事内容

2. 40項目の課題の進捗状況について

成果があった課題として9件、改善に向け動きがあった課題として3件が報告された。

3. 課題からの削除4件が報告された。

2. 貨物の集荷及び船舶の誘致活動

(1)「川崎港戦略港湾推進協議会」ポートセールス部会の活動

「川崎港戦略港湾推進協議会」(平成23年9月設立)は、川崎市、川崎商工会議所、川崎港運協会、川崎臨港倉庫埠頭(株)、かわさきファズ(株)、関東船主会及び川崎港振興協会の7団体で構成され、コンテナターミナル利用の一層の拡大を図るための課題や方策を検討し、集荷とサービスレベルの向上を目指して、活動を行っている。推進協議会の会長を当協会の齋藤文夫会長が務め、推進協議会の実行部隊である2部会(ポートセールス部会・施設計画部会)のうち、ポートセールス部会の事務局を当協会が担い、施設計画部会には委員として参加した。

なお、今年度のコンテナターミナルでの取扱数量は、初めて12万TEUの大台超えを果たした。

ア ポートセールス部会の開催

(ア) 第1回ポートセールス部会の開催

日 程 7月5日

- 議 題 ①平成28年度収支決算書及び監査報告について
②平成29年度事業計画について

(イ) 第2回ポートセールス部会の開催（施設計画部会との合同会議）

日 程 11月15日

- 議 題 ①コンテナターミナルの整備状況及び今後の計画について
②コンテナターミナルの取扱実績について
③コンテナ輸送効率化実証実験について

(ウ) 第3回ポートセールス部会の開催

日 程 2月22日

- 議 題 ①下半期の事業活動について
②川崎港を取り巻くマーケット状況について
③川崎港コンテナターミナル施設整備計画について
④平成30年度事業計画及び収支予算案について

イ 新規航路の開設

(ア) 中国船社TCLCの川崎寄港開始

- ・中国（南京、常州、太倉、舟山）と日本港を結ぶ航路
- ・2月12日に初入港船が川崎寄港

(イ) ワンハイの新サービス（NS1）の川崎寄港

- ・東南アジア・華南航路、平成30年4月から配船開始

(ウ) SITCのタイ航路新サービスの川崎寄港

- ・タイ・ホーチミン航路、平成30年4月からのサービス開始

ウ 国内ポートセールスに関する活動

(ア) 企業訪問等

- ・リーファー貨物の取り扱い拡大に向けて新規荷主の獲得を目指した。
- ・タイ航路誘致に向けてのサポート荷主との連携強化を図った。
- ・事務機器、化学品関連企業への取り組み

(イ) 各種業界会合等への参加

- ・川崎危険物懇話会への参加（5月30日、10月31日）
- ・ISOタンク、危険品取り扱い企業への対応

(ウ) 東扇島島内のドレージ環境改善に向けての施策の検討

- ・実証実験の実施
- ・シャーシ置場の増設

(エ) 国内連携港との意見交換等

- ・八戸港、仙台港との交流

エ 海外ポートセールスに関する活動

官民一体となったセールス活動の実施

(ア) タイ航路開設に伴うポートセールス

日 程：3月20日～23日、3月25日～28日

目 的：輸出入事業者への新サービスの紹介

(イ) 上海でのポートセールスの実施

日 程：7月17日～19日、2月27日～3月2日

目 的：上海における船社、企業訪問

(ウ) 青島でのポートセールスの実施

日 程：1月30日～2月2日

目 的：青島における船社、企業訪問

オ 友好船社対応

(ア) S I T Cとの連携強化

・航路開設5周年記念 感謝の集いの開催（5月17日）

・上海本社表敬訪問

・意見交換会の開催（11月、2月）

(イ) ONE LINE JAPAN との交流

・「物流研修会」において講演頂いた。

・荷主を交えての懇親会の開催

(2) 川崎港振興協会独自のポートセールスに関する事業

荷主及び船会社、フォワーダー等物流企業を訪問し、川崎港の更なる発展に向けて情報収集を行った。また、インバウンド等の川崎市内への効果的な誘導を推進することを目的として、川崎インバウンド等誘客推進協議会が立ち上がり、クルーズ船誘致グループの事務局として誘客・おもてなしグループとの合同会議を主宰した。

3. 京浜3港広域連携に関する事業

従来実施してきた三港間の連携取組に加え、モーダルシフトや創貨といった新しい分野を含めたより広い事案を対象に、京浜3港としてのPR等の可能性について各港関係者と検討を行った。

4. 初入港船歓迎行事

川崎港に初入港する船舶の乗組員に記念品等を贈呈し、歓迎の意を表することにより、川崎港をPRした。

平成29年度は外航船30隻が初入港した。(前年度 15隻)

4月	1隻	8月	1隻	12月	5隻
5月	3隻	9月	3隻	1月	0隻
6月	5隻	10月	1隻	2月	5隻
7月	3隻	11月	2隻	3月	1隻

5. 国際交流事業

ダナン港との交流

川崎市と友好港であるベトナム・ダナン港長一行が2月26日に川崎市を訪問された。歓迎会を開催し交流を深めるとともに、ダナンー川崎間の定期航路開設に向けて協力していくことを約した。

6. 「川崎港便覧」の製作・販売

川崎港港域内の港湾施設、企業名等を記した地図に、行政機関、施設使用料、統計資料等を掲載した川崎港便覧を作成し、ポートセールスに使用するほか、川崎港利用者等に頒布した。

川崎港便覧 2017年度版

発行日	8月31日
発行部数	日本語版 3,900部
	英語版 350部

7. その他の振興事業

川崎港の振興及び当協会の事業を広報するため、日刊紙、業界紙及び地域情報誌等に情報を提供した。

[主な提供先]

7月21日発行	日本海事新聞「海の日記念特集号」
7月28日発行	タウンニュース川崎区・幸区版「暑中見舞い広告」
11月16日発行	日本海事新聞「創刊75周年記念特集号」
1月1日発行	タウンニュース川崎区・幸区版「元旦号」
1月5日発行	日本海事新聞「新年特集号」

【公益目的事業－2】

——港湾施設を核に、市民に開かれた港づくりの推進を図ることと併せて港湾の利用促進を図る事業——

1. 市民と港を結ぶ事業

市民が川崎港と海に親しむとともに、川崎港の役割及び海事思想について理解を深めるため、川崎マリエンを中心に次の事業を実施した。

また、各事業を実施するに当たり、効果の測定・評価及び今後の事業の参考とするためにアンケート調査を行い、サービスの向上並びに適切な会館管理運営を図った。

あわせて、国土交通省から「みなとオアシス」の登録を受け、地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを推進する活動を行った。

(1) 第44回川崎みなと祭りの開催

川崎港について市民及び港湾関係者の理解を深め、川崎港に対する親近感を高める機会を提供するため、「みんなの川崎港」をテーマに関係機関・団体と連携、協力して、第44回川崎みなと祭りを開催した。

- ・開催日 10月7日・8日
- ・来場者 232,000人（前年度来場者 162,000人）

(2) 映画上映会の開催

保育園、幼稚園、小学校の夏休み、冬休み、春休みの期間を利用し、マリエンシアターで小学生以下の子どもとその保護者を対象に、DVD等映像ソフト利用による映画上映会を3回開催した。(前年度 3回 89人)

- ・上映日 7月21日 上映作品「アールと少年」
来場者8人
- ・上映日 12月25日 上映作品「ズートピア」
来場者11人
- ・上映日 3月26日 上映作品
「それいけ！アンパンマン ブルブルの宝探し大冒険！」
来場者45人

(3) 初日の出観賞会の開催

東京湾に面した眺望の良さを生かして年中行事として市民に定着した初日の出観賞会を川崎マリエン展望室において開催した。また、大みそかの夜から元旦の夜明けまで川崎マリエンタワー棟壁面へのライトアップを実施した。

- ・実施日 1月1日
- ・来場者 先着300人

(4) 夏休み工作教室の開催

川崎マリエンにおいて、小学生とその保護者を対象に、「ボトルシップ工作」「ボトルアート(ステンド画風)工作」の2教室を開催した。
(前年度 85人)

- ・実施日 8月19日・20日
- ・参加者 19日 97人(ボトルシップ57人、ボトルアート40人)
20日 98人(ボトルシップ63人、ボトルアート35人)

(5) 夏休み海洋環境教室の開催

川崎マリエンにおいて、小学生とその保護者を対象に専門家の指導による水産動植物の観察や生態の調査を行う体験学習活動を実施し、海洋環境保護の大切さを学んだ。(前年度 57人)

- ・実施日 7月24日
- ・参加者 46人

また、釣りの楽しさやマナーを学びながら、海の生き物に親しむとともに、川崎港を広く知ってもらおう親子釣り教室を開催した。

- ・実施日 11月11日
- ・参加者 16人

(6) ボトルシップ工作教室指導者養成コースの開催

子ども向けボトルシップ工作教室のボランティア指導者の養成を図るため、公募により、ボトルシップ工作に興味があり、将来子ども等への指導者を目指す9人を対象に、1年間の全12回コースで毎月第3土曜日に養成コースを開催した。また、コース終了後、川崎マリエンで作品展を開催した。

(7) クリスマスイルミネーション装飾及びライトアップの実施

クリスマスに川崎マリエン植栽へのイルミネーション装飾及び川崎マリエンタワー棟壁面へのライトアップを実施し、季節の感じられる川崎マリエンを演出し、川崎マリエンの魅力の向上を図った。

- ・イルミネーション 12月8日～25日
- ・ライトアップ 12月31日～1月1日

(8) 第7回川崎マリエン写真・児童絵画コンクールの開催

川崎港を身近に感じてもらい、川崎港に接する機会の創出のために京浜臨海部を題材とした作品のコンクールを開催した。

展示会は、川崎マリエンと川崎アゼリアで実施した。

- ・応募資格 児童絵画の部は小学生以下、写真の部は制限なし
- ・応募期間 12月1日～1月31日
- ・応募点数 写真70点、絵画327点
- ・選考会 2月21日
- ・表彰式 3月18日

(9) 展示用フリースペースの利用促進

川崎マリエン交流棟1階ロビーを展示会用フリースペースとして市民等の利用に供し、希望者に無料で貸し出した。

○常設展示

- ・ミニチュアカー
- ・クラシックカー（ロールスロイスファントムⅡ ～9月12日）
- ・絵画「陽だまり」8月1日～

○期間展示

- ・川崎市観光写真コンクール入選作品
7月21日～7月31日
- ・海上保安署パネル展
12月7日～12月14日
- ・第7回川崎マリエン写真・児童絵画コンクール入賞作品展
3月12日～3月26日
- ・ボトルシップ工作教室指導者養成コース成果発表作品展示会
3月17日～3月24日
- ・川崎ビーチスポーツクラブパネル展
3月28日～3月31日

(10) 展示の充実

○川崎マリエン交流棟2階マリエンプラザ

友好港ダナン港コーナーの展示を追加した。また、新たに検疫所のパネルを掲示するなどし、交流棟2階への回遊性を高めた。

○川崎マリエンタワー棟10階展望室

液晶タッチパネル方式の案内板のメニューの1つ「川崎港トピックス」の更新を行った。

○交流棟1階ロビー及びタワー棟10階展望室

東扇島中公園等に飛来する野鳥のパネルを展示し、来館者が川崎港をより広く理解しながら、周囲の眺望を楽しめるよう展示の充実を図った。

(11) 夏休み川崎港見学会の開催

夏休みを利用して小学生とその保護者を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」による港内見学やプリンス海運株式会社の自動車専用船の船内見学等を行い、川崎港の役割、重要性等の理解を深めた。見学会は3回実施し、延べ98人の参加を得た。(前年度3回/98人)

7月26日	17組	34人
8月2日	16組	32人
8月9日	16組	32人

(12) 川崎港魅力体験ツアーの実施

一般市民を対象に、港湾施設や市民利用施設を見学するとともに、夜間も活動を続ける川崎港と臨海部の工場群を海上から視察し、川崎港の役割、重要性等を理解しながら川崎港の魅力を経験するツアーを区役所との共催で3回実施し、延べ133人の参加を得た。(前年度2回/89人)

- ・1月22日 宮前区役所と共催 参加者49人
- ・3月14日 幸区役所と共催 参加者42人
- ・3月22日 宮前区役所と共催 参加者42人

(13) 港内案内事業の実施

川崎市が一般市民、研究者、事業者、内外視察団等を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」を利用して海上から川崎港を案内する事業において、乗船者に川崎港の歴史、機能、役割、重要性等についての説明を行う業務を当協会が受託し、30回、合計879人を案内した。(前年度28回804人)

4月	—	—	8月	11回	393人	12月	3回	89人
5月	—	—	9月	2回	63人	1月	—	—
6月	2回	61人	10月	5回	110人	2月	—	—
7月	2回	77人	11月	4回	68人	3月	1回	18人

また、東扇島防災浮棧橋を活用した港内観光などの実施に向けた、平常時利用の実証実験事業を当協会が受託して、川崎市及び関係事業者を含めた協議会を設置した。なお、年間4回の運営理事会を開催し、当該浮棧橋を利用した実証実験の回数は年間で計24回であった。

(14) スポーツ教室及び大会の開催によるスポーツの振興

川崎マリエンの体育室（夜間バドミントン教室/春の部・秋の部）、テニスコート（夜間テニス教室/春の部・秋の部、昼テニススクール・大会）、ビーチコート（日帰り研修/ビーチバレーボール・ビーチテニス、ビーチバレーボール大会・ビーチテニス大会）、トレーニング室（トレーニング教室）を利用して、各種スポーツの競技人口の拡大と併せて施設の利用を促進するため、教室及び大会を開催した。

(15) ニュースポーツ普及事業の実施

レクリエーション関係各社と連携して、川崎マリエンを利用するニュースポーツ普及のための講習会を4回開催するとともに、用具を川崎マリエンに備え付け、東扇島中公園等の施設利用者に貸与した。

(16) 川崎市港湾振興会館活性化事業（宿泊体験他）の実施

川崎マリエンの特色を発揮し、市民が川崎マリエンに親しむ機会を創出することにより、施設の活性化並びに川崎港及び川崎マリエンの新たな魅力創出につなげるため、幸区子ども会連合会を対象とする宿泊体験研修を実施したほか、ビーチバレーボールとビーチテニスの日帰り体験会及び大会を実施した。

ア 第1回ビーチバレーボール体験会

- ・実施日 4月23日
- ・参加者 30人

イ 第2回ビーチバレーボール体験会

- ・実施日 5月28日
- ・参加者 29人

ウ 第3回ビーチバレーボール体験会

- ・実施日 6月11日
- ・参加者 27人

エ 第4回ビーチバレーボール体験会

- ・実施日 9月18日
- ・参加者 16人

オ 第5回ビーチバレーボール体験会

- ・実施日 12月3日
- ・参加者 17人

カ 第1回ビーチテニス体験会

- ・実施日 11月5日
- ・参加者 14人

キ 第1回ビーチバレーボール大会

- ・実施日 11月12日
- ・参加者 14人

ク 第1回ビーチテニス大会

- ・実施日 11月26日
- ・参加者 21人

ケ 宿泊体験研修

- ・実施日 7月28日・29日
- ・参加者 子ども62人、大人13人

(17) 川崎マリエン茶道教室の開催

川崎マリエンの和室を利用して、伝統とおもてなしの心を体験する茶道教室を開催した。

- ・無料体験会 5月24日（参加者16人）

- ・6月14日より毎月第2・第4水曜日開催（全20回・参加者15人）

(18) 観光客の誘致

一般社団法人川崎市観光協会と連携するほか、一般財団法人夜景コンベンション・ビューローが主宰する「日本夜景遺産」に認定された川崎マリエン展望室等を観光名所として、国内外に情報発信するとともに、東海道かわさき宿交流館での「夜景遺産ポストカード」の展示・販売を実施し、改めて観光客等の誘致を図った。

(19) 川崎港紹介資料の制作

市内小学校の社会科見学で来館する児童等の理解を促進するための副教材を作成し、配布を行った。

(20) ワカメ祭りの開催

小学生とその保護者を対象に、川崎の海の環境保全の大切さを理解する機会を提供するため、関係団体と連携、協力して、川崎港内で養殖したワカメの見学会と併せて川崎マリエン施設の見学会及び収穫したワカメの観察・試食体験を行う収穫祭を開催した。（前年度参加者102人）

- ・1月28日 養殖ワカメの見学会・マリエン施設見学会 参加者45人
- ・2月18日 収穫祭 参加者80人

(21) 野鳥の保護・観察

環境保護活動の一環として、野鳥保護・観察の観点から市民参加型事業を検討し、川崎マリエン及び隣接する東扇島中公園において、市民参加による野鳥の巣箱工作教室と観察会を実施した。

- ・実施日 12月9日
- ・参加者 22人

(22) スポーツ合宿の開催

2020年に向け、U23世代に対してオリンピックによるビーチバレーボールの指導とトップアスリートによる必要な要素を研修できる環境を提供し、次世代を担う選手を育成する事業を行った。また、川崎マリエンの施設利用、スポーツ振興を通じて川崎港の振興に寄与した。

実施日：3月9日～11日

実施内容：ビーチコートでは実技・試合、研修室・会議室は座学に利用

参加人数：男子6名 女子3名

(23) 共催・後援等事業の実施

川崎マリエンのビーチコート、テニスコートなどのほか、東扇島の市民利用施設の周知、PR、利用促進を図るため、イメージアップ効果のある各種大会を誘致するとともに、各種団体が主催する事業を積極的に共催・後援した。

[共催・後援した主な大会等]

- ・ジュニア育成テニス教室
- ・2017川崎マリエンカップジュニアオープンテニス大会
- ・川崎市実業団対抗テニストーナメント大会（一部リーグ）
- ・神奈川ベテランミックステニス2017（オープン）

- ・ 神奈川オープンベテランウィンターテニス2017大会
- ・ 第29回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会
- ・ デフビーチバレーボール大会 in 川崎マリエン
- ・ バイクナビ・グランプリ2017川崎マリンエンデューロ
- ・ 第10回川崎港トライアスロン in 東扇島兼

第4回川崎ジュニアトライアスロン大会

- ・ 第9回ビーチバレー川崎市杯
- ・ U-23ビーチバレーボールトーナメント
- ・ DEAD POP FESTIVAL 2017
- ・ BAY CAMP 2017
- ・ 夏の魔物2017
- ・ 第12回勇竿釣具店カレイ投げ釣り大会

2. 川崎市港湾振興会館の管理運営

川崎マリエンの指定管理者として、設置目的に従って体育室、会議室・研修室、展望室、テニスコート、ビーチコート、トレーニング室、駐車場等の市民利用施設・設備及び港湾事務室を適切に管理・運営するとともに、七夕やクリスマス、お正月等の季節を感じる飾り付けなどを行い、快適な環境及び魅力ある施設の運営により利用者の拡大を図った。

また、利用率向上のため川崎市教育委員会を通じて市内の中学校に、あわせて音楽大学や、社交ダンスの団体等に施設の案内を行った。

ア 体育室

多目的利用が可能な体育室として規定の種目以外の種目であっても利用可能な行事であれば対応し、大会や催しを開催し多目的な利用に繋げた。(新体操、空手、吹奏楽のリハーサル、社内懇親会など)

イ 会議室・研修室

通常の会議利用他、撮影場所として提供し川崎マリエンのPR、知名度アップに貢献した。

ウ 展望室

日本夜景遺産登録のPRを引き続き行い、利用者増を図った。

エ テニスコート

川崎市の改修工事として4、5、6番コートのポールとネットの交換、ベンチの追加を、協会として利用者からの要望に適宜対応したコート内の砂の追加、備品管理を行って利便性の向上を図った。

川崎市テニス協会と協力しジュニア育成などの大会を開催し、テニスの振興を図った。

オ ビーチコート

日本ビーチバレー連盟他関係団体と協力し、大小多くの大会を開催してビーチスポーツの振興を行った。東京オリンピックを目指すビーチバレーアスリートに練習場所として提供した。

カ トレーニング室

月4回の初回説明会の実施、各器具の定期点検を行い、安全性を確保し利用者の増加を図った。

ビーチコートと同じくアスリートにトレーニング場として環境の提供を行い、ビーチスポーツの振興に繋げた。

キ 季節の飾り付け

川崎マリエンの来館者を迎える玄関である交流棟1階ロビーに七夕、クリスマス、お正月等の季節を感じる飾り付けを行い、利用者の増加を図った。

ク 会議、委員会の設置

・入居者連絡会

川崎マリエン入居者への情報提供や意見交換を行った。

(4月27日・9月26日・1月30日)

・サービス向上委員会

受託事業者（保守管理業務、受付業務、清掃業務）間でサービスの向上を図るため毎月1回行った。

・川崎マリエン管理運営個別業務自己評価点検委員会

受託事業者（保守管理業務、受付業務、清掃業務）の個別業務ごとに施設管理者が評価点検を毎月1回行った。

・川崎マリエン利用者懇談会

川崎マリエンの利用者及び川崎市民の意見を反映させ、当施設の設置目的の実現や活性化を図るために開催した。(7月20日・1月22日)

平成29年度 川崎マリエン利用者数（前年度との比較）

平成29年度		平成28年度	
407,108人		345,544人	
・体育室	16,692人	・体育室	15,197人
・会議室・研修室	17,677人	・会議室・研修室	17,115人
・展望室	74,502人	・展望室	76,863人
・テニスコート	31,542人	・テニスコート	30,494人
・ビーチコート	30,332人	・ビーチコート	37,047人
・川崎みなと祭り	232,000人	・川崎みなと祭り	162,000人
・その他(トレーニング室他)	4,363人	・その他(トレーニング室他)	6,828人

3. ホームページによる情報提供事業

川崎港の振興宣伝及び当協会の事業、イベント等の周知を図るため、市民及び港湾・海事関係者並びに当協会の会員等にホームページ・フェイスブック等で随時情報を提供した。

また、振興協会、マリエンの両サイトでリニューアルを行い、ウェブアクセシビリティ（ウェブサイトを利用するすべての人が、心身の機能や利用する環境に関係なく、提供されている情報やサービスを利用できること）に対応するよう配慮した。

- ・ホームページアドレス
 公益社団法人 川崎港振興協会 <http://www.kawasakiport.or.jp/kyokai/>
 川崎マリエン <http://www.kawasakiport.or.jp/>
 川崎マリエン (Facebook) <https://www.facebook.com/kawasakimarien/>
- ・平成29年度 ページ別訪問数 171,393件

【収益事業－1】

——川崎市施設の管理運営に関する事業——

1. 川崎市港湾振興会館収益施設の管理運営

川崎マリエンの指定管理者として、港湾事務所等の収益事業部分を川崎市港湾振興会館の設置目的に従って適切に管理・運営を行った。

2. 東扇島中公園バーベキュー場管理運営

川崎マリエンに隣接する東扇島中公園内のバーベキュー施設等の管理運営を川崎市から受託し、施設維持管理、案内、用具点検等利用者の安全と快適性を確保するため適切な管理運営を行った。

平成29年度 利用区画数 延727区画（平成28年度 延761区画）
 貸自転車 延1098台（ ” 延901台）

3. 自動販売機の設置

川崎マリエン及び東扇島西公園に飲料水等の自動販売機を設置し、利用者の利便性の向上を図った。

・交流棟 1台 ・業務棟 2台 ・連絡通路 3台 ・展望室 1台
 ・テニスコート 3台 ・西公園 5台

【収益事業－2】

——川崎港関連物品等の頒布事業——

1. 川崎マリエンオリジナルグッズの製作、販売

多くの市民及び事業者に川崎港及び川崎マリエンに親しんでいただくため、マリエンに展示しているサメの剥製「かわジロー」に因んだサメグッズを製作及び仕入を行い、販売した。また、川崎港のシンボルキャラクター「川丸くん」グッズの追加作成・販売を行った。更に日本夜景遺産認定を記念して製作した夜景遺産ポストカードの販売を川崎マリエン受付及び東海道かわさき宿交流館で行った。

2. 体育室等利用者のための消耗品の販売

体育室利用者向けにピンポン球、シャトルコック等、シャワー室利用者向けに

洗面用品を販売し、利便性の向上を図った。

【共益事業】

——会員を対象にした研修会、講演会の開催及び機関誌の発刊——

1. 会勢

(1) 会員 265社 (入会5社、退会4社)

(2) 役員 19人

会長 1人

専務理事 1人

理事 14人

監事 2人

顧問 1人

(3) 職員 15人

事務局長 (業務課長兼務) 1人

業務課 5人

ポートセールス推進課 1人

会館事業課 8人

2. 総会・理事会

(1) 通常理事会

・開催日 5月25日

・場所 川崎マリエン第1会議室

- ・議題
- ①平成28年度事業報告について
 - ②平成28年度決算報告及び監査報告について
 - ③役員を選任 (案) について
 - ④会員の入会 (案) について
 - ⑤平成29年度定時総会の開催 (案) について
 - ⑥職務執行状況の報告について

(2) 定時総会

・開催日 6月16日

・場所 川崎日航ホテル11階橘楓の間

- ・議題
- ①平成28年度事業報告について
 - ②平成28年度決算報告及び監査報告について
 - ③役員を選任 (案) について
 - ④平成29年度事業計画及び予算について

(3) 通常理事会

・開催日 11月15日

・場所 川崎マリエン第1会議室

- ・議 題 ①平成29年度上半期事業報告について
- ②平成29年度中間決算報告について
- ③会員の入会（案）について
- ④職務執行状況の報告について

(4) 通常理事会

- ・開催日 2月14日
- ・場 所 川崎マリエン第1会議室
- ・議 題 ①平成30年度事業計画（案）について
- ②平成30年度予算（案）について
- ③資金調達及び設備投資の見込み（案）について

3. 川崎港研修会

港湾関係行政機関から講師を招き、会員店社の新入社員を対象に、川崎港における港湾行政について講演するとともに、海上から川崎港を視察し、川崎港についての理解を深めた。

- ・開催日 6月29日
- ・場 所 川崎マリエン研修室
- ・参加者 36人
- ・演題1 「関東運輸局の業務概要について」
講師 関東運輸局川崎海事事務所 所長 佐瀬 直人 様
- ・演題2 「川崎港の概要」
講師 川崎市港湾局港湾経営部経営企画課長
柳 賢一 様

4. 川崎市港湾関係事業概要説明会

会員店社等が川崎港において事業展開する際の参考となるよう、川崎市港湾局から講師を招き、港湾振興事業、公共事業、将来計画、川崎港の港勢等について説明を行った。

- ・開催日 6月27日
- ・場 所 川崎マリエン研修室
- ・参加者 83人
- ・演 題 「平成29年度事業概要」
- ・講 師 川崎市港湾局港湾経営部整備計画課長 高橋 正力 様

5. 物流研修会

港湾をとりまく物流の変化に対応するため、今年度は、オーシャン ネットワーク エクスプレスジャパン株式会社 代表取締役 社長執行役員 木戸 貴文 様にコンテナ船事業の変化・大型化と寡占化などについてご講演を頂いた。

- ・開催日 2月15日
- ・会 場 東海道かわさき宿交流館

- ・参加者 88人
- ・演 題 「コンテナ船事業の寡占化 何故 ONE？」
- ・講 師 オーシャン ネットワーク エクスプレスジャパン株式会社
代表取締役 社長執行役員 木戸 貴文 様

6. 「港かわさき」の発刊

川崎港の現状、将来像、物流動向、イベント情報、港湾又は海に関わるエピソード等を掲載した機関誌を発刊し、会員に川崎港の最新情報を提供するとともに、市民が川崎港の役割、重要性、魅力等について理解を深める一助とした。

(1) 「港かわさき60号」

- ・発行日 8月23日
- ・発行部数 1,000部
- ・主な内容 「港かわさき」ここにあり！
公益社団法人川崎港振興協会 会長 齋藤 文夫

連載第10回「私の川崎港」

かわさきファズ株式会社 代表取締役社長 吉田 利一 様

物流研修会「海運業界が抱える課題と日本の港湾」

横浜川崎国際港湾株式会社 代表取締役社長 諸岡 正道 様

(2) 「港かわさき61号」

- ・発行日 1月15日
- ・発行部数 1,000部
- ・主な内容 「みなとオアシス川崎」が新規登録
川崎市港湾局 港湾振興部 誘致振興課

連載第11回「私の川崎港」

川崎臨港倉庫埠頭株式会社 代表取締役会長 瀧崎 雅介 様

「2020 川崎から世界へ！！」

川崎ビーチスポーツクラブ (K B S C)

7. 各種行事への招待

当協会が協賛、後援等をする行事に会員を抽選により招待した。

- ・ビーチバレーJBVツアー川崎市杯
10月7日・8日 於 川崎マリエン・ビーチコート